

ユース審判員活動報告書

(審判トレセンブロックレフェリーアカデミー)

～エキシビジョンマッチ 「第4回赤黒ドリームマッチ」 における審判活動～



一概要一

- 参加者：鍋谷 翔心（札幌地区）沼田 翔（札幌地区）太田 碧飛（旭川地区）
鈴木 陽和（オホーツク地区）片桐 奈槻（北空知地区）栗本 清香（苫小牧地区）
- 期 日：令和7年11月8日（土）11:30キックオフ
- 会 場：大和ハウスプレミストドーム
- 講 師：靱山 智哉（HKFA審判委員会育成部 サッカー2級インストラクター）
岸本 拓洋（サッカー2級インストラクター）
- オブザーバー：北海道RAC受講生および北海道RACインストラクター



一研修内容一

- 開講式
- 審判実技
第4回赤黒ドリームマッチ
(CONSAOLDS VS 北海道コンサドーレ旭川 U-15)
- フィードバック
(北海道レフェリーアカデミー生による)
- 閉講式



ユース審判員の感想

いつもとは違う雰囲気、自分も萎縮してしまい、普段のレフェリングを出せなかったことがとても悔しいですが、どのような時でも変わらないレフェリングをするために、もっとたくさんの経験を積み重ねたいと感じることができました。最後に、このような機会を与えてくださったコンサドーレの皆さん、サポートしていただいたインストラクターやレフェリーアカデミーの皆さん、ありがとうございました！

鈴木 陽和

大和ハウスプレミストドームのフィールドから見る景色はとても清々しいもので、改めて審判の道を進んでいく覚悟と共に、夢を抱くことが出来ました。緊張は勿論でしたが、自分の出せるベストを出せたと思います。インストラクターはじめ、今回の開催に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

鍋谷 心翔

中々このような大舞台上で審判をさせて貰えることがないのでとても貴重な経験をさせて貰えて感謝しています。自分と同じ高校生でもすごく上手なレフェリーがいることを直接感じる事が出来てすごくいい刺激になり、今後のモチベーションにも繋がりました。今回見えた改善点をしっかり克服し、より信頼されるレフェリーになりたいと強く感じました。

栗本 清香

まずは大和ハウスプレミストドームという場所で、素晴らしい選手と審判仲間が揃った試合に関われたことを嬉しく思います。レフェリングに関しては、良い姿勢を保ち、正しいポジショニングをとることを常に意識して臨み、忠実に実行することができたと感じています。試合後のレフェリーアカデミー生の方によるフィードバックでは、フラッグテクニックについて学ぶことができ、有意義な時間になりました。今回の活動にあたってご尽力いただいた株式会社コンサドーレや公益財団法人 北海道サッカー協会審判委員会の皆様、日頃から応援してくださる皆様に感謝します。ありがとうございました。

片桐 奈帆

このような貴重な機会をいただいたこと、誠にありがとうございます。まず率直な感想として今回のレフェリング、とても楽しかったです。試合の内容としては、自信を持ったジャッジができました。また、フィードバックでは副審として意識すべきポイントを学ぶことができました。今回学んだことを来年以降の審判活動に活かしていきたいと思っています。

沼田 翔

初めて、ドームで審判をやることができ、貴重な体験ができて良かったです。アカデミーの方たちにアドバイスを貰うことが出来たのはとてもいい経験値になったと思います。自分では全く意識していなかったことに気づき、いい経験になりました。今後もこのような活動ができる場面があったら、参加したいです！

太田 碧飛

